

安心・安全な暮らしに関する特別委員会 議事次第

令和8年10月9日(金)
午後1時30分～
於：第6委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「感染症危機への対応力強化に向けた取組について」

参考人：京都大学大学院 医学研究科 ヘルスセキュリティセンター
健康危機管理対応力開発分野 教授 長谷川 学 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 そ の 他

6 閉 会

安心・安全な暮らしに関する特別委員会 出席要求理事者名簿
(令和8年9月府議会定例会)

【危機管理監】	
危機管理監付企画参事	万 所 ル ミ

【文化生活部】	
生活衛生課長	小 林 哲

【健康福祉部】	
高齢者支援課長	田 中 弘 和
健康対策課長	戸 田 英 和
感染症予防・対策課長	三 輪 有 弘
医療課長	古 川 浩 気

(計 6 名)

京都感染症対策センター（京都 C D C） の概要について

令和 8 年10月 9 日
健康福祉部
感染症予防・対策課

京都感染症対策センター（京都CDC） 設立の経緯①

【新型コロナウイルス感染症対応時の課題】

- 入院医療コントロールセンターによる府内一元的な入院調整等、府市が連携して感染症有事に対応
- 一方で、病原体の性状（病原性、感染性、薬剤感受性等）等の情報が、必ずしも国から適時に提供されなかったことは課題



- 府内の感染症情報等を独自に収集・検査・分析できる体制の構築が必要



京都府総合計画（R4.12）に位置付け

「将来発生が見込まれる新興感染症等に対応するため、平時から、感染症に係る関係者間の情報共有や、施設等への感染予防支援に取り組むとともに、情報の速やかな集約・分析機能を備えた『京都版CDC（疾病予防管理センター）』の創設など、感染症への総合的な対応力を高めます。」（府総合計画抜粋）

京都感染症対策センター（京都CDC） 設立の経緯②

京都府新型インフルエンザ等対策行動計画の改定（R7.3）

- 新型コロナ対応の経験を踏まえた改定
- 準備期・初動期・対応期のうち、準備期（平時）の取組を充実
- 京都版CDCの創設を前提とした取組についても記載

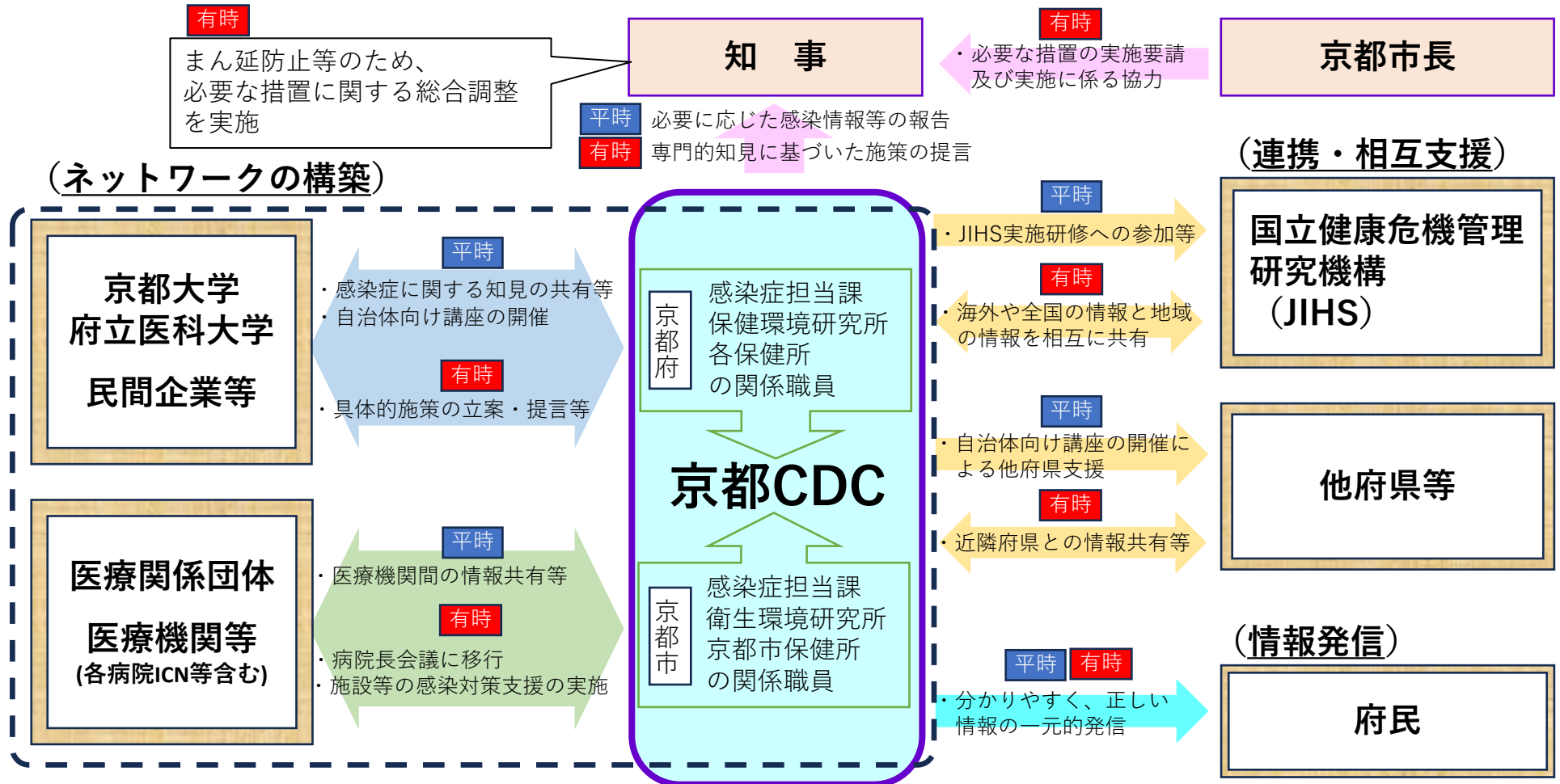


京都CDCが実施する行動計画の主な取組

- 府内病院ネットワークの構築
- 感染症専門看護師（ICN）等が施設等の感染拡大防止対策を支援できる体制の整備
- 府内の発生動向等も踏まえた包括的なリスク評価の実施
- 科学的根拠に基づいた正確・迅速な情報発信

京都感染症対策センター（京都CDC）の概要

- 【設置時期】 令和8年10月
【組織】 府市感染症担当課・研究所・保健所の関係職員の兼務・府市相互併任により構成
【勤務場所】 職員は、それぞれの所属の勤務場所で分散勤務



(案)

令和8年 月 日

京都府議会議長 荒 巻 隆 三 殿

安心・安全な暮らしに関する特別委員長 岡 本 和 徳

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

自然災害に対する防災・減災対策、複雑化する犯罪への対応、感染症に備えた保健・医療・介護体制の構築など、府民の安心・安全の実現に向けた施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため